

平成30年度第1回区政会議での意見と対応一覧

【当日出された意見等】

意見内容	回答	対応
<p>西成のジャガピーパークのような、体を使って遊ばせる公園などの整備をしてはどうか。 工場の廃材で遊んだり、畑を耕すとか、地域で見守る子育てがいい。</p>	<p>毎月定例的に主任児童委員と一緒に主に未就学児が集まり遊べる取組は行っています。</p> <p>大阪市としては、児童館ではなく放課後居場所づくりとして児童いきいき放課後事業に力を入れています。居場所づくりとしては、高齢者・子どもを見守っていきます。体力づくりは、ジョギング大会などソフトで対応しています。また、構想段階ではありますが千島公園の親水公園の整備についても検討しています。</p>	<p>回答済み</p>
<p>地域のコミュニティの活性化も商店街の役割であるということや、区商連をなくすことについて改めて聞きたい。</p>	<p>具体的に商店街の活性化へのアイデア等がありましたら経済戦略局におつなぎします。任意団体である区商連に関するご質問にはお答えできません。</p> <p>特定の団体への支援等ではなく、プロジェクトベースの公民連携についてのご提案を頂ければと思います。</p>	<p>回答済み</p>
<p>大正区は健康寿命が短い、ヘルスリテラシーを高めることが大事。独自の取組を行い啓発すべき。</p>	<p>健康寿命が短いのが課題と考えています。啓発も広報紙だけでなく、個別の対象者に、イベントや健康教室などの場で、がん検診などの周知を行っています。そうした活動を継続的に地道に行うことが重要と考えます。健康体操の実施など予防にも努めたいと考えております。</p> <p>これまで福祉事業者との連携はありましたが、医療関係者とは少なく、医療関係者からご意見を頂けるような連携を考えており、地域包括ケアシステムの構築につなげていきたいと考えております。</p>	<p>回答済み</p>
<p>区役所への問い合わせをするにあたり、どこに行くべきか入口がわからない。地域包括支援と子どもサポートネットの関わりが分からない。</p>	<p>来庁時には区役所1・2階に配置している窓口案内人にお問合せください。その他電話等による相談等は総務課にお問合せください。</p> <p>子どもサポートネットについては、各小中学校でスクリーニング会議を始めており、地域包括支援体制の中では、このしくみが子どもの見守りとなります。</p> <p>今年度、地域包括支援プロジェクトを立ち上げ、現在は委託で支援をしている地域まちづくり実行委員会活動経費の補助金化での支援に変えていくことを説明しています。将来的には高齢者、子どもを含む地域での課題すべてを包括的に支援したいと考えております。</p>	<p>回答済み</p>
<p>住みます芸人の取り組みは、大正区ではどうなっているのか。天王寺区では区広報紙で紹介している。</p>	<p>住みます芸人は大阪市と吉本興業による包括連携協定の一環として、地域活性化につながるイベントに出させていただいており、現在実績は6～7件に留まっており、区内10地域のすべてには参加出来ていません。今後は住みます芸人の方に地域の紹介記事を書いて頂くなど、広報紙に掲載していきたいと考えております。</p>	<p>回答済み</p>

<p>経営課題7「まちがつながる力-地域活性化」の要因分析のところ、若年層の割合が低い。他の区はどうかの。</p>	<p>他の区の情報については、後日報告させていただきます。</p> <p>まちづくり実行委員会の横の連携については、「まちづくり活動見本市」を開催し、10地域の活動内容の情報共有を図っています。他区の活動を参考に地域活動を盛り上げていくために、他区と同じ補助事業化を進めたいと考えております。</p>	<p>経営課題7「まちがつながる力-地域活性化」の要因分析でお示ししている数値は平成26年の区民モニターアンケートの回答数です。同時期における他区のデータを入力することはできませんでしたが、「大きな公共を担う活力ある地域社会づくり」に係る成果指標測定のための無作為抽出アンケート（平成29年度）における「あなたは地域活動に参加していますか」という問いへの回答は24区平均が23.9%、大正区は21.4%という結果になっています。</p>
<p>100歳体操の対象についてと、その会場に歩いて来れない人へ提唱する内容はありますか。</p> <p>介護保険は、その名称を理由に断る方がいる。体力の維持のため、サービスを受けることが必要であると、利用者の理解不足を感じている。どのくらい認知しているのか。</p> <p>ケアマネなどには悪徳事業者も多い。区は把握しているのか。</p> <p>運動指導で関わることがあるが、転倒などのリスクや様々なコストが医療側に負担となっている。</p>	<p>100歳体操は、健康を維持して頂く予防に力を入れた取り組みです。介護制度は難解なところが多く、本来の趣旨を理解いただくのは難しいですが、情報紙を発行し、医療と介護が連携した在宅医療のことや、予防にも力を入れている事を啓発していきたいと考えています。ケアマネなどが参加する居宅介護支援事業者連絡会（居支連）に出席し、情報共有しています。大阪市の監査部門との情報連携も可能と考えております。</p> <p>介護予防については、区の事業としてだけではなく、地域活動として取り組むという考え方もあります。地域活動にすると、問題が起こった際の責任問題が生じてくる面で難しいという意見につきましては、今後検討したいと考えております。</p>	<p>現在、当区では「いきいき百歳体操」の外、口腔機能の低下予防のための「かみかみ百歳体操」、認知症予防のための「しゃきしゃき百歳体操」を10地域19拠点で実施しており、そのうち約3割の高齢者の方が要支援・要介護認定を受けている状況にあります。住民主体の憩いの場への参加が難しい方への対策としては、看護師、管理栄養士、歯科衛生士等が居宅を訪問して「閉じこもり、認知症、うつ予防」「栄養改善」「口腔機能向上」の各プログラムを提供するサポート型訪問サービス事業（大阪市福祉局所管）があり、地域包括支援センターから依頼があり次第、当区で調整を行います。また、要介護・要支援認定非該当の方や、相談業務等で把握した閉じこもりがちな高齢者に対し、地域包括支援センターとともに当区保健師が家庭訪問して介護予防活動等必要な支援につなげてまいります。</p>
<p>大正区が大好きで、嫌いなボランティアも参加する気になった。いろんな人が住んでいて、いろんな問題があるけど、大正区を好きな人がどれだけ作れるか、で解決するのではないかと。</p>		<p>貴重なご意見として承ります。</p>
<p>高齢者の方が、健康増進の取り組みとして、地域で気軽に参加できるものがあれば良いのでは。</p>		<p>貴重なご意見として承ります。</p>
<p>子供のころ大正で過ごした期間がすごく楽しかったので、成人してから大正区に住み始めた。当時は公害が問題になっていたが、その公害すらも活気があるからだ、とうれしかった。知っているということがステップアップにつながる。区政会議に来て感じるが、知る機会が増えると活動につながる気がする。子供が離れるといいが、40代の参加は難しい。そういう意味で地域活動に参加可能な高齢者が多いというのは良いこと。</p>		<p>貴重なご意見として承ります。</p>

【議員からの意見等】

意見内容	回答	対応
<ul style="list-style-type: none"> ・ 質問に対する答えが答えになっていない。真摯な回答をされたい。 ・ 1 - 8 アンケートの問い方が変わるが、データの連続性が心配。両方にとって相関について検証できるようにしてはどうか。 		<p>質問の意図を正確に把握するとともに、よりご納得いただける内容を回答してまいります。</p> <p>昨年度まで指標把握のために行っていた各事業の参加者アンケートも継続して実施していることから、効果の検証は可能となっています。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 区役所は真摯に、回答してほしい。 ・ 意識調査は本当のデータ蓄積になると思うので賛成である。 		<p>質問の意図を正確に把握するとともに、よりご納得いただける内容を回答してまいります。</p> <p>蓄積したデータについては、経年比較など検証を行い、今後の施策や事業に的確に反映してまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 大正区は10地域あるが、区政会議が、それぞれのいいところを伸ばせるような場であればいいと考えている。 		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 松本委員の質問である「ジャガピーパーク」について、「ジャガピーパーク」は小学校が4つ統廃合された中で、空白地域に子どもの遊び場、居場所、学び場を確保するため、寄付や西成区の特区事業として（今年度予算約2000万円）成り立ちが違うことをまず説明するべきだと思う。この事業は委託事業で、大阪市内の公園でできないようなたき火などを大人が安全管理し実施しており。単なる公園整備の話ではないことも説明するべき。 ・ 地震の話は、要支援者、高齢者の避難体制、安否確認体制を重点的に行って頂きたい。 		<p>プレーパーク事業（ジャガピーパーク）については、「西成区に存在する様々な課題を解決し、子育て世代を呼び込み、まちを活性化させる」という西成特区構想に基づき、平成25年度より有識者会議を通じて、屋外での「自由な遊び」による体験や交流を通じて、子どもの「生きる力」を育む子どもの居場所の必要性について意見を聞き、平成26年度開催場所の検討を行い、もと津守小・幼稚園にてよりモデル実施を行い、平成30年度から本格実施となりました。（「プレーパーク」とは、子どもが「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーに既存の公園では禁止されているようなことを可能な限り自由にできることをめざした遊び場です。参考資料を別添しておりますので、ご参照ください。）</p> <p>災害時を含め日ごろの見守りにも活用するための要援護者名簿の整備については、区社協に「見守り相談室」を設置し、専任の見守りコーディネーターを配置して、対象者への同意確認や地域・関係機関と連携した独自の要援護者情報の収集に努めています。</p> <p>30年度は、早期の要援護者名簿完成に向け、地域における見守り体制づくりのサポートを行うために区が各地域に配置している「見守り推進員」と連携し、訪問による同意確認に重点的に取り組まします。</p> <p>今後、見守り相談室が整備した要援護者名簿と各地域が独自に収集した要援護者情報をまとめた要援護者支援台帳を作成し、日ごろの見守りや災害時における要援護者の安否確認・避難支援に活用できるよう、体制づくりなど地域との調整を進めていくこととしています。</p>

【区長発言】

意見内容	回答	対応
<p>「ジャガピーパーク」については、次回までに詳細資料を用意し、委員の皆様にご説明させて頂く。</p>		<p>上記のとおり。</p>
<p>質問への回答については、条例上区政会議内でやらなければいけない事も多く、また議題が広範囲であることもあり、簡潔に回答せざるを得なかった部分もありますが、今後の対応策を考えていきたい。</p>		<p>回答済み</p>
<p>「大正区将来ビジョン」の底流に流れるのは、大正区への愛情だと考えており、行政の責務は大正区での活動を支えるベースの部分にあると思う。区民の方々一人ひとりの暮らしを支え、地域活動の下支えを行うべく「大正区将来ビジョン」を策定した。今後皆さんのご意見を踏まえ、よりよい区政運営を行っていきたい。</p>		<p>回答済み</p>

【ご意見シートでの意見等】

意見内容	回答	対応
<p>行政のサービスはどこでも「どのサービスを利用しますか」という聞き方を窓口でされる。利用者としては「どんなサービスがあるのか」「私が利用できる（私に合う）サービスはどれなのか」というケースも多いので、そのあたりを検討していただきたい。</p>		<p>担当ごとにチラシやパンフレットを作成し、わかりやすいご案内に努めているところですが、今後より一層区民の目線に立ったご案内に努めてまいります。</p>
<p>介護について、ケアマネや事業者を自由に選んでくださいと言われますが、良いケアマネの基準が分からない。特徴もわからない。「どういうケアマネがいい」とか「この事業者、このケアマネは に強い」とか、判断するための情報をもっと提示してほしい。公平性からどのケアマネがよいといえないことは理解できますが、もう少し選ぶための指針が必要だと感じています。</p>		<p>区役所が特定の事業所を案内することは致しかねますが、どの事業者を選んでいいかわからないというお問い合わせに対しましては、高齢者の方々の様々な支援を行っている地域包括支援センターをご案内しています。 大阪市の委託機関である地域包括支援センターでは、日ごろからケアマネージャーなどの居宅介護事業所との連携や情報共有を行っており、相談される方のお話をお聞きしながら、ニーズに合わせて複数の事業所を提示するなどの柔軟な対応を行っています。 区役所としましては、地域包括支援センターと連携して情報共有するとともに、地域包括支援センターの周知に努めます。</p>
<p>大正区のまちづくり実行委員会の補助金化に向けた説明はわかりにくく、プリントもわかりにくいものではないでしょうか。認知度についてもまだまだの中での説明は、大正区としては初期の段階の説明からが必要ではないかと思えます。また、確実に決まっていない時点での説明ではなく「こうなります」という説明にしてほしいと思います。</p>		<p>ご指摘のとおり、補助金化に向けた説明会については、初期の段階からの説明が必要と考え、補助金化の理念や制度の説明を中心に実施しましたが、わかりにくいとのご意見を他の地域からもいただいております。補助金化は区の方針ですが、制度変更にむけては段階的な説明が必要と考えており、今後は、わかりやすい資料作りに努めるとともに、丁寧な説明を行い、引き続き補助金化に向けて取り組んでまいります。</p>
<p>何事も浅く広くではなく、中身の濃いやり方をしてほしいと思います。</p>		<p>区政会議の運営については、今後深みのある議論をしていただくため、テーマを設定する等検討します。</p>
<p>私は会議の中で区商連の件を質問したところ、区役所からは任意団体であるので、解体は難しいと返答がありました。また、私がもし区役所的に解体するとどのような影響が出るか聞いたところ、あまり答えになっていない回答が返ってきていたので、その点は少し考えた方がよいのではと思いましたが、もし引き続き商店街支援等の知恵があれば、教えていただきたいです。</p>		<p>任意団体の創設や解散については、区役所として関与できない旨回答を申しあげたところです。 例えば商業団体の立場から、区の活性化につながるような取り組みを進めていただく際には、区役所としても公民連携事業のパートナーとして支援してまいりたいと考えております。</p>

基本的にスピードが足りない。意見に対して明確な回答がされない。区政会議という区民からのクレームを聴く場となっている感じが否めない。前回の会議の進捗状況を特に質問があったものについて経過報告すべきだと考える。

意見への回答については、質問の意図を正確に把握するとともに、よりご納得いただける内容を回答してまいります。
進捗のあった事業について回答しておりますが、前会議での質問事項については、進捗なしの場合もご質問のありましたことについては、区政会議で報告してまいります。

プレーパーク事業

事業目的

- ・子どもたちの課題や困難を乗り越える力を身につける場としての「遊び場」(プレーパーク)
- ・学習習慣を身につけ、学力向上を図る場としての「学び場」(学習支援機能)
- ・自己肯定感を高めることができる場としての「たまり場」(フリースペース)


子どもの「生きる力」を育む居場所として、にしなりプレーパークの本格実施をめざす

事業実施に至る背景・経過

・「西成区に存在する様々な課題を解決し、子育て世代を呼び込み、まちを活性化させる」という西成特区構想が平成25年度より本格的に実施

・有識者会議を通じて、屋外での「自由な遊び」によって得ることができる体験や交流を通じて、子どもの「生きる力」を育む子どもの居場所の必要性についての意見を受けたため事業実施に至る

これまでの取組

- ・平成26年度【受託事業者:大阪市立大学】
開催場所の検討を行い、もと津守小学校・幼稚園にて「にしなりプレーパーク」をモデル実施
- ・平成27年度【受託事業者:大阪市立大学】
8月20日～約2ヶ月間モデル実施(水～日の5日/週 10時～17時)
来場者1,500名、プレーパーク実行委員会を設置し定期的に会議を開催
- ・平成28年度【受託事業者:にしなりプレーパークプロジェクト(4者による共同体)】
5か月間のトライアル実施(土日祝及び夏休み期間の平日10時～17時)
「遊び場」「学び場」「たまり場」設置
名称をより親しみやすいプレーパークをめざし、区のマスコット名 から  から **にしなりジャガピーパーク** に変更
- ・平成29年度【受託事業者:にしなりプレーパークプロジェクト(3者による共同体)】
通年84日間のトライアル実施(2年目)

事業費の推移

	26年度		27年度		28年度		29年度		30年度
	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	見込	算定
事業費	4,068	4,133	6,725	6,473	9,124	8,562	13,308	13,308	21,919
国庫支出金	0	0	0	0	934	956	1,500	1,500	2,083

生活困窮世帯の子どもに対する学習支援事業助成金

実施場所

もと津守幼稚園:園舎・園庭
もと津守小学校:グラウンド
(使用面積 約6,000m²)

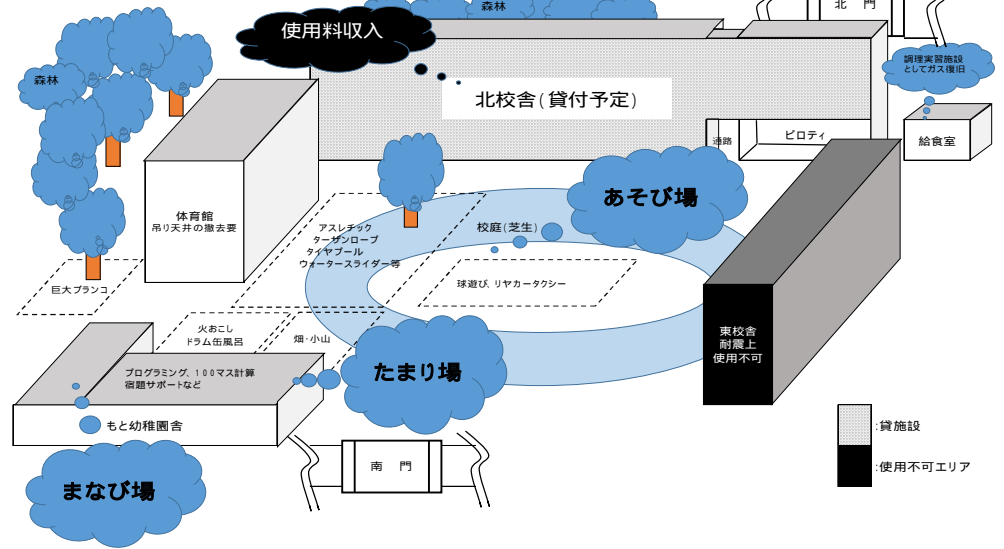


位置図



航空写真

H29年度全体図



遊び場(タイヤプール)



遊び場(火おこし)



学び場

平成 28 年度の実施状況について

参 考

・タイヤタワーとターザンロープ



・どろんこ工事



・タイヤとビニールシートで作ったプール



・泥遊び



・まなび場 (プログラミング教室)



・調理実習



・木工工作



・ドラム缶風呂



・たまり場 (小物立て作り)



・たまり場 (フリースペース)



・保護者同士で交流、意見交換など

